

自民党 県会報告 第181号

2月県議会 定例会 会期 2月14日(火)～3月17日(金)

自民党議員会主導で 「小規模企業振興基本条例」実現!

2月定例会は、2月14日から3月17日までの日程で開会され、復興・創生期間2年目の平成29年度一般会計当初予算などについて審議いたしました。

自民党議員会が主体となり、昨年10月に検討会を設置し、11回にわたる会合で検討を重ねた結果、小規模企業を支援するための施策を盛り込んだ、「福島県中小企業・小規模企業振興基本条例」の改正案を提出し、知事提出議案や意見書など153件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、追加代表質問1名、一般質問7名が登壇し、「新生ふくしま」実現のため、復興の土台を固める取組や、ふくしまならではの地方創生を推進するための、県の施策についていただきました。

平成29年度予算の主な内容については以下の通りです。

平成29年度一般会計当初予算 1兆7,183億73百万円
そのうち復興・創生費用 8,750億39百万円

【主な内容】

- チャレンジふくしま農林水産物販売力強化事業(21億5,278万円)
- 第三者認証GAP取得等促進事業(3億2,488万円)
- 県民健康調査事業(48億7,498万円)
- ふたば医療センター(仮称)整備事業(23億6,043万円)
- 小高統合高等学校設備整備事業(1億666万円)
- 福島インバウンド復興対策事業(6億9,463万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書

- JR只見線の早期全線復旧を強く求める意見書
- 放射線リスクの情報提供の徹底と放射線教育の拡充を強く求める意見書

代表質問(平成29年2月21日)



自民党議員会を代表して、吉田栄光議員(双葉郡選出)が登壇し、代表質問を行いました。

Q 県民の誇りをいかに取り戻し、福島未来をどのように創造していくのか

A 内堀知事

復興に向けた取組を着実に進めるとともに、福島ならではの強みをいかした攻めの取組を展開し、挑戦県「福島」、可能性の地「福島」を強く発信し、福島の奇跡という新しい歴史を創り上げる。

Q ふくしま復興再生道路である県道原町川保線の八木沢トンネルの進捗と見通しは

A 土木部長

昨年3月に貫通し、現在トンネルの壁面工事を進めており、舗装、照明工事に着手した。綿密な工程管理を行い、来年7月の「相馬野馬追」前の開通を目指す。

Q 中小企業・小規模企業の振興への取組は
A 内堀知事

小規模企業向けの制度資金の拡充など、企業活動の土台固めの取組を進めるとともに、成長産業への地元企業の参入促進など、攻めの取組を積極的に推進する。

Q 県立高等学校入学者選抜制度をどのように見直すのか

A 教育長

従来からのI期選抜とII期選抜を一度に行う、前期選抜を設け、志願者全員に学力検査を課すことにより、中学校での学習時間を十分に確保し、学力向上が図れるよう見直す。この前期選抜は、小論文や実技等の検査結果を中心に判定する特色選抜と、学力検査を中心に判定する一般選抜を設ける。

自民党議員会の活動



▲合同部会(2月21日)



▲農林水産部会(2月27日)

政務調査部会の開催

自民党議員会の政務調査会には6つの部会(総務・企画環境・福祉公安・商労文教・農林水産・土木)があり、各定例会ごとに調査部会を定期的開催し、地域の政策課題や県民から提出される請願・意見書等について議論しております。

2月定例会では、平成29年度当初予算などについて、県執行部と協議をし、予算成立に向け取り組みました。

また、2月定例会より佐藤義憲議員が、農林水産委員会副委員長・農林水産部会副部会長に就任しました。

広報委員会の開催

自民党議員会では、毎定例会ごとに広報委員会を開催し、県会報告と年2回発行している県議会ニュースの紙面や、県内各地で行っている、街頭広報活動について、議論しております。

今後も、分かりやすい紙面へと工夫を重ねながら、県政の今を県民の皆様にお伝えしてまいります。(広報委員一同)



▲2月定例会での広報委員会



▲新年広報活動(1月10日)

自民党議員会は今後も福島県の復興を着実に加速させるべく、県、各省庁、党本部へ働きかけるなど、最善の努力をしてまいります。